

かけはし通信



第2回かけはし連絡会・合同研修会が開催されました。

令和7年8月8日に青島北地区交流センターで「第2回幼保こ小連携推進事業(かけはし)担当者連絡会・合同研修会が開催されました。内容は以下の通りです。

【第1部】講話 (リモート聴講あり)

講師: 認定こども園島田中央幼稚園長・元公立小学校長 内田 育子 様

演題: 「笑顔をつなぐ架け橋期の取り組み～大人もこどもも わくわくがいっぱい～」

【第2部】グループ協議(小学校区グループ) 及び講評(内田育子様より)

- ・講話の感想の共有
- ・学びのつながりウェビング

当日は大変暑い中でしたが、園関係者38名 学校関係者17名、架け橋プログラム策定委員2名が参集してくださり、リモート聴講にも複数の園、学校の参加がありました。

講師の内田育子先生からは、乳幼児期のこどもの育ちと学びの芽生えについて具体的に姿でお話をいただきました。こどもたちの生き生きとした様子が目に浮かぶ、あっという間の70分間でした。そして、かけがえのないこどもたちに関わる全ての大人が大切にしたいことを改めて考える機会となりました。

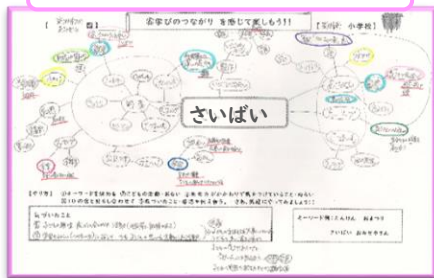
講話の内容

笑顔をつなぐ 架け橋期の取り組み ～大人も こどもも わくわくがいっぱい～

- 1 私たちは同じ目的を持ってこどもの育ちを支えている
- 2 架け橋プログラム
 - 幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き
 - 静岡県版幼小接続モデルカリキュラム(平成30年度版)
- 3 幼児教育・小(中)学校教育に携わる大人たちが、こどもの育ちを共有し、話し合う営み
 - 目指すところ
 - 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を手がかりに
 - 先生(※幼保こ小の先生)の関わり
 - こどもの学びはつながっている
- 4 共に「主体的・対話的で深い学び」をめざし、こどもの成長・発達を支える



学びのつながり ウェビングシート



第2部の幼保こ小のかけはし担当者によるグループ協議では、講話から学んだことをふまえ、「学びのつながりを感じて楽しもう!!」というテーマでウェビングを行いました。ウェビングのキーワードは、「たんけん」「おまつり」「さいばい」「おみせやさん」「あきみつけ」からグループで選びました。キーワードから連想することの姿を語り合うこ

とで、幼保こ小のつながりを感じることができ、会場は笑顔でいっぱいになりました。

【ウェビングをやってみて気づいたこと】

- ・10の姿に分類すると、幼保こも小学校も同じだということがわかった。
- ・こどもの思い、つぶやきを大切にすることで主体的な活動、学習につながっていく。園の活動が学校の学びにつながっているのがわかった。
- ・幼児期のこどもたちは、思っていたより話し合いができる。もっと「どうしたい?」とこどもたちの思いを大切にしていきたい。
- ・こどもの声に耳を傾け、こどもの気づきを大切にする。



講話について

園からの目線で、保育の中での育ちや保育士の役割を解説していただき、改めてきちんとした**論理や認識を持って保育にあたる大切さ**を考えました。また、小学校との比較では、同じだけれど、ねらいや捉え方の違いがわかりました。やはり、先生がおっしゃられたように、**お互いを知る事が一番大事で、今必要な事**なのだと思います。そういう機会をたくさん作って行けたら良いと思います。

参加者の感想より

グループ協議について

講話にもあったように、たてのつながり、よこのつながりはとても大切だと感じました。**会を重ねるごとに、グループの先生と仲良くなる**ことができ、**様々なことを気軽に相談**できるようになりました。ウェビングも終始楽しい雰囲気でき、わくわくしながら作成することができました。かけはしカリキュラムの⑥につながっていくということで、今回の作成に関する協議もとても有意義な時間でした。

幼稚園、小学校がどんな思いで、どんなことをやっているのかを共有し伝え合うことの大切さを講話いただきとても安心しました。こどもたちの**安全基地になること、傾聴、共感、褒める、応援する、信じて待つ、を大切**にすることによりこどもたちは**自信を持って自己決定**できるようになることを改めて学びました。

小学校との違い、共通点を具体的に知ることができました。また園によっても違いがあるので、**他園の話もきけて、「一緒ですね!」と共感したり、逆に「それはいいな!」という実践も聞けたり**したのがすごく参考になりました。

園と小学校での育成したい資質能力の同じ点や重なる点についてわかりやすくお話していただき、かけはし期の連携した取り組みの重要性について改めて感じました。とても、活力をいただくご講話でした。**こどもたちと一緒にわくわくがいっぱいの学校生活**を送りたいです。

小学校では決定的に園生活とは違う部分も多くあるのが事実なので、その中でも、今私たちができること、こどもたちのためにできることを改めて知ることができた気がしました。

心に残ったのは、幼稚園、保育園の先生方と伝え合うのが楽しくなる、ということでした。全体計画を立てるとき、いつも苦しい思いをしていました。しかし、幼児期との連携を考えるとわくわくします。保育園の先生方から、普段と違うこどもの見方を教えていただき、目から鱗、でした。最後の講評で、**「小学校の環境設定は単元構想だ」という話**はとても**腑に落ちた**感じがしました。

園での体験や経験したこと、こどもたちが身につけている力が小学校での学習につながっていることを強く感じました。これから、**単元に入る時には「園の時はどんなことしたかな?」とこどもたちに投げかけて、できていることや更にやりたいことが見つかる活動へとつなげたり発展させたり**していきたいと思いました。お互いにつながりを感じてグループのみんなで安心しました。

今回の研修会では、主に「学びのつながり」について考えました。日々、全力でこどもたちと向き合い、実践されている先生方同士だからこそ分かり合える「愉しさ」「わくわく」がいっぱいの幸せな時間となりました!!

